

LET 第52回全国研究大会ワークショップのご案内



公式サイト: <http://let-kansai.org/2012/>

ワークショップに関するお問い合わせ: http://www.let-kansai.org/2012/?page_id=37

9:00 - 10:30		ワークショップ 3 Using Moodle Reader to Support Extensive Reading	ワークショップ 6 同時通訳テクニック授業活用 法
10:45 - 12:15	ワークショップ 1 データベースを活用した『教材データの再利用』『教材提示の円滑化』『授業の活性化』	ワークショップ 4 外国語教育の成果に関するデータの分析・解釈・表現	ワークショップ 7 視覚教材を活かした小学校外国語活動の進め方
12:45 - 14:15	ワークショップ 2 Ustreamで教育活動や研究活動をライブ配信しよう	ワークショップ 5 Rによる教育・言語データ処理のススメ	ワークショップ 8 図や映像とリンクさせた指導のあり方

参加申し込み方法

LET2012のWEBサイト「第52回全国研究大会ワークショップ申込みフォーム」から申し込みを受け付けます。LET会員でなくても受講可能です。申し込み後に、受付のメールが自動送信されます。このメールには受付ID（受付整理用の2ケタもしくは、3ケタの数字です）などの情報が記載されています。ワークショップ当日にこの受付IDをご持参ください。

受講料

会員：無料

非会員：1コマにつき1,000円

（2コマ以上は、1コマの額（1,000円）に申込みコマ数を乗じた額になります。例えば、2コマ申し込みの場合は2,000円です）

お支払い方法

当日受付でお支払いください。領収証も発行いたします。

参加申し込みのキャンセル、申し込み講座の変更・追加

参加申し込みのキャンセル、申し込み講座の変更・追加をされる場合は、「専用お問い合わせフォーム」（http://www.let-kansai.org/2012/?page_id=37）にて事務局に連絡してください。

お問い合わせ

お申し込み後のお問い合わせは、「専用お問い合わせフォーム」（http://www.let-kansai.org/2012/?page_id=37）からお願いします。

その他

LET会員の方の受講は、無料になります。まだ入会されていない方は、ぜひLETへの入会をお考えください。入会は、LET本部サイト入会専用サイトから可能です。

（入会登録後、年会費の入金をワークショップの日までにお済ませください）

🎧 Workshop 1: 神谷 健一 先生 データベースを活用した『教材 データの再利用』『教材提示の円 滑化』『授業の活性化』

スライド教材の提示にデータベースを使ってみませんか？このワークショップでは講師自らが開発し無料公開している教材作成ツール・教材提示ツールの使い方を学びます。授業で使える様々なアイデアも是非交換しましょう。

【講師紹介】

神谷健一（かみやけんいち）1975年生まれ。大阪工業大学知的財産学部。関心のある領域は英語教育、教育工学、情報処理教育、言語学など。ネット上では実名主義ですので他のプロフィール等をご自由に検索して下さい。

ワークショップで紹介するツールは<http://www.oit.ac.jp/ip/~kamiya/>で無料公開しています。

【受講者への案内】

ワークショップ当日は、**USBメモリをお持ちください**。持参していただいたUSBメモリにプログラムをインストールして、当ワークショップで使用いたします。ワークショップではインストールから始めますので、事前にUSBメモリにソフトをインストールする必要はありません。またノートPCを持参していただく必要はありません。

🎧 Workshop 2: 東 淳一 先生 Ustreamで教育活動や研究活動を ライブ配信しよう

Ustreamを使うと、授業などの教育活動や研究会の内容をテレビのようにライブ配信できます。またtwitterなどと組み合わせることで遠隔地にいる聴衆とフレキシブルな双方向コミュニケーションが可能です。このワークショップではUstreamでライブ配信し、そして同時に twitterでフィードバックを得る方法を実演をまじえ解説します。

【講師紹介】

大学学部生時代からのLLA、LET会員です。専門は外国語教育における先進

メディア利用、音声学（韻律関係）。最近では絵文字状シンボルを利用したユニバーサル言語の構築にも取り組んでいます。順天堂大学医学部（外国語研究室）。

🎧 Workshop 3: Aaron Campbell 先生 Using Moodle Reader to Support Extensive Reading

In this workshop, participants will gain firsthand experience with all of the main features of Moodle Reader, both from the perspective of the student and that of the teacher. After a brief overview of extensive reading and Moodle Reader in general, workshop participants will read a very short book, take a quiz, and search for an appropriate title for their next book. Then participants will log in as teachers, learning how to track student quiz activity, set semester reading goals, and modify a variety of quiz and user settings. By the end of the workshop, participants will have a solid understanding of how Moodle Reader works and what it has to offer extensive reading programs.

【講師紹介】

Aaron Campbell is a lecturer in the Department of British and American Studies at Kyoto University of Foreign Studies, where he currently facilitates a department-wide extensive reading program using Moodle Reader. Current research interests include CALL and teaching methodology.

🎧 Workshop 4: 前田 啓朗 先生 外国語教育の成果に関するデータの分 析・解釈・表現

研究者としてに限らず、外国語の教員としても、指導の日々はデータに溢れています。難解で高度なものに限らずとも、ある程度の目安であれば日常の環境でも分析は行えます。Excelを

使った実習形式で、それらを確認します。

【講師紹介】

広島大学大学院教育学研究科修了。編著として『英語教師のための教育データ分析入門』（2004年、大修館書店）等。研究分野や関心を問わずデータの収集を適切に計画し・分析し・解釈し・結果を提示することで研究成果を蓄積し、また、教育実践を振りかえる機会とすることに関心がある。

🎧 Workshop 5: 阪上 辰也 先生 Rによる教育・言語データ処理の ススメ

本ワークショップでは、統計ソフト「R」の使い方をハンズオンで学びます。具体的には、成績等の教育データから必要な情報を取り出しての記述統計および検定（例：t検定）だけでなく、言語データの処理方法（例：単語リストの作成）を紹介します。

注) 対象は、Rを初めて使う方、Rを使い始めてこれから本格的に利用しようとする方とします。なお、統計やプログラミングに関する事前知識はほとんど必要ありません。

【講師紹介】

広島大学外国語教育研究センターにて特任講師。専門は、日本人英語学習者を対象とした第二言語習得研究。特に、コロケーションなどの定型表現の処理について研究を行っている。

【受講者へのお知らせ】

ワークショップ当日は、**RをインストールしたノートPC（WindowsでもMacintoshでも可）をご持参ください。**

インストール方法の詳細は公式ページをご確認ください。

またノートPCをお持ちでない場合でも、デモ画面閲覧のみの参加も可能です。

🎧 Workshop 6: 平島 晶子 先生 同時通訳テクニック授業活用法

同時通訳者が同時性を達成するために行っている予測や、リサーチ、用語集作成法、サイト・トランスレーションなどのテクニックを英語教育に活用する。スピーチやインタビューの通訳、模擬同時通訳などを通して、英語でコミュニケーションの幅が広がることを実感する。

【講師紹介】

株式会社PAN代表取締役、同時通訳者。甲南大学非常勤講師。関西学院大学大学院修士（言語科学）、神戸松蔭女子大学院博士後期在籍中（言語科学）。英国閣僚、王室関係の通訳か

ら、国際会議、学術会議、外交、放送、企業統合、知的財産権訴訟などの多岐にわたる通訳に従事。現在通訳業の傍ら「同時通訳における予測」の研究中。

🎧 Workshop 7: シャンタール・ヘンミ先生 視覚教材を活かした小学校外国語活動の進め方

コミュニケーションの素地を作り、5、6年生に解りやすい意味の伝え方、アクティビティーの進め方を、小学校の教室でどのように実現していけば良いのでしょうか。本ワークショップでは、新しい小学校英語活動の教材を取り上げ、解り易い英語でのデモンストレーションと、日本語での解説を織り交ぜながら、参加者のみなさんに、視覚教材を効果的に使用した小学校外国語活動を体験して頂く予定です。

【講師紹介】

エクセター（英国）英語教授法博士課程修了。専門は、英語教育、CLIL（Content and Language Integrated Learning: クリル）、英語学習者や教育者のアイデンティティー研究。

小学校外国語活動教師研修も精力的に企画・運営している。2011年5月からは上智大学とブリティッシュ・カウンスルで教鞭をとりながら、小学校外国語活動、及びバイリンガルの日本女性のアイデンティティーについて研究している。

🎧 Workshop 8: 中嶋 洋一 先生 図や映像とリンクさせた指導のあり方

E・デールによると、絵や図を見ながら話を聞くと定着度が倍近くになるといふ。授業では、どこで何を見せればよいか。そこで何を語ればよいかという授業デザインが欠かせない。より有効なプレゼンを問題提起したい。

【講師紹介】

関西外国語大学 国際言語学部 教授。埼玉県、富山県で小学校、中学校

教諭、富山県教育委員会 砺波教育事務所 指導主事、砺波市立出町中学校 教頭 平成19年4月より准教授、20年より現職。

単著『英語好きにする授業マネジメント30の技』（明治図書）他
共著『だから英語は教育なんだ』三浦孝、弘山貞夫（研究社出版）他
編著『6-way Street』北原延晃、菅正隆、久保野雅史、田尻悟郎、蒔田守（バンブルビー）他